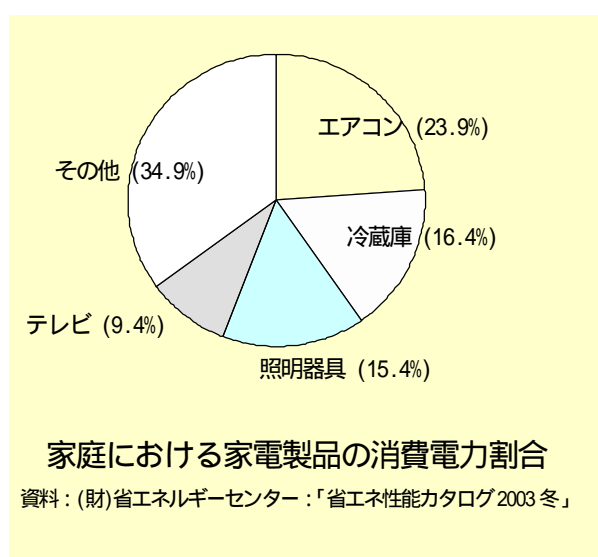
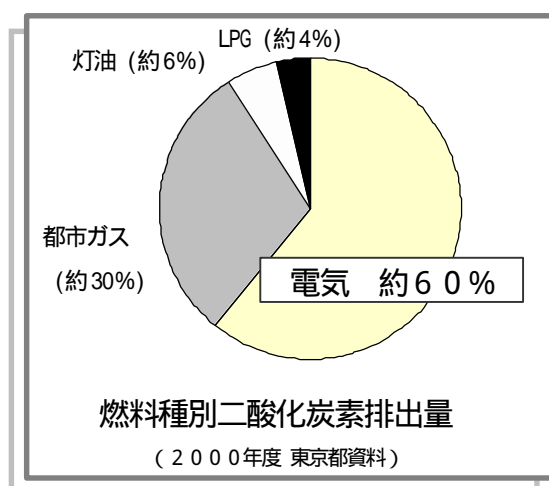


都内家庭部門の特徴

家庭部門からのCO₂排出量の約60%が電力

都内家庭部門での二酸化炭素排出量は、世帯数の増加、世帯当りの家電製品所有率の増加等により増加しており、90年度にくらべ約9%増加している。

燃料種別の二酸化炭素排出量構成比では、電気の割合が最も大きく約60%を占める。家電製品の消費電力量割合は、エアコン、冷蔵庫、照明器具、テレビなどが上位である。



東京は全国に比べ単身世帯の割合が高い

近年、東京都では単身世帯の増加が著しい。

また、東京都は、国に比べ全世帯数に占める単身世帯の割合（単身世帯比率）が高い。

（東京都の単身世帯比率は約40%、国は約25%（2000年度））

